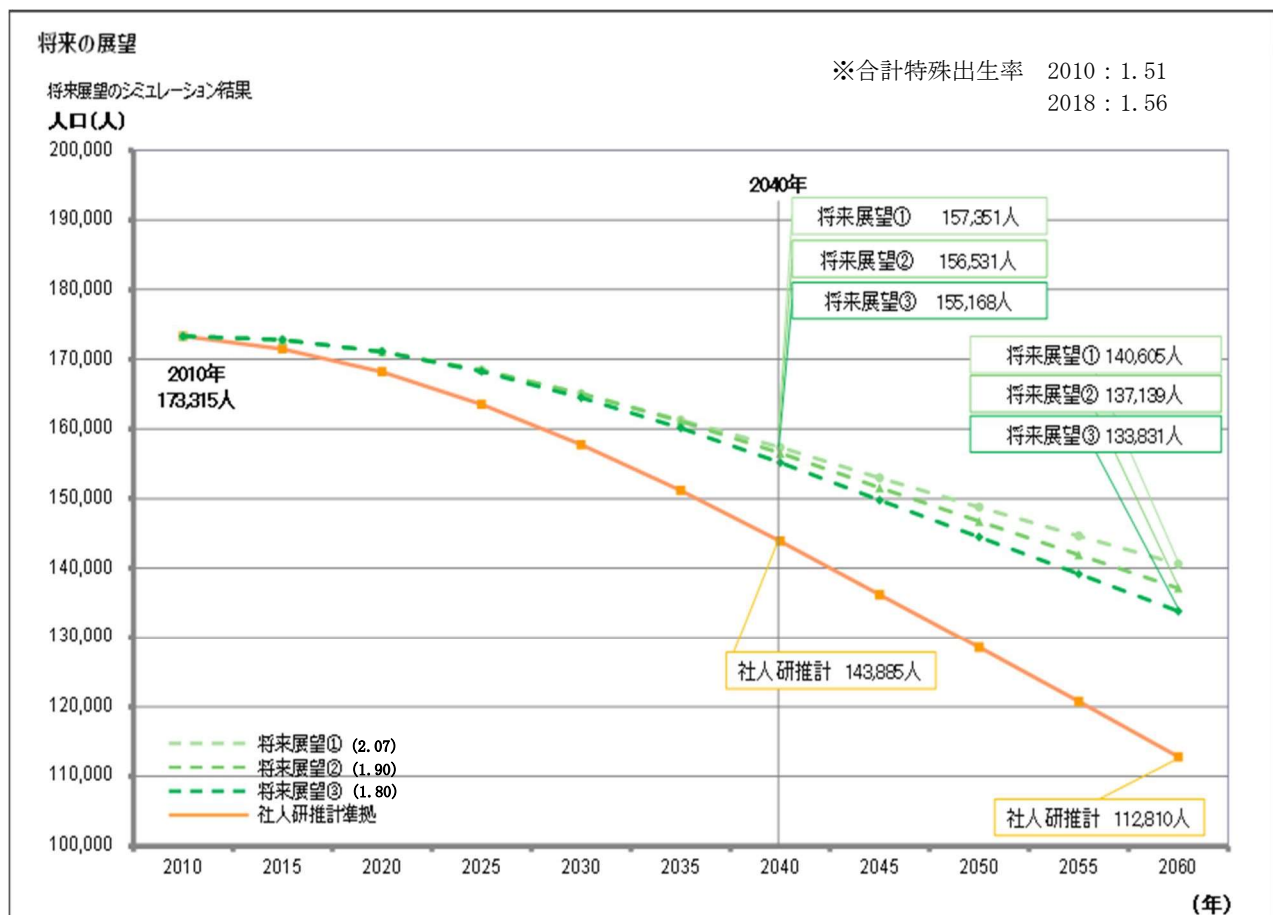


人口推計について

◆本市では、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）の推計をもとに、平成 28 年 2 月に「第 1 期苫小牧市人口ビジョン」を、令和 2 年 3 月に「第 2 期苫小牧市人口ビジョン」を策定し、人口の将来展望を示している。

【第 1 期苫小牧市人口ビジョンにおける将来展望】

◇若年層の転出を抑制するとともに、合計特殊出生率（1.51）を段階的に引き上げたと仮定（①2.07、②1.90、③1.80）してシミュレーションしている。



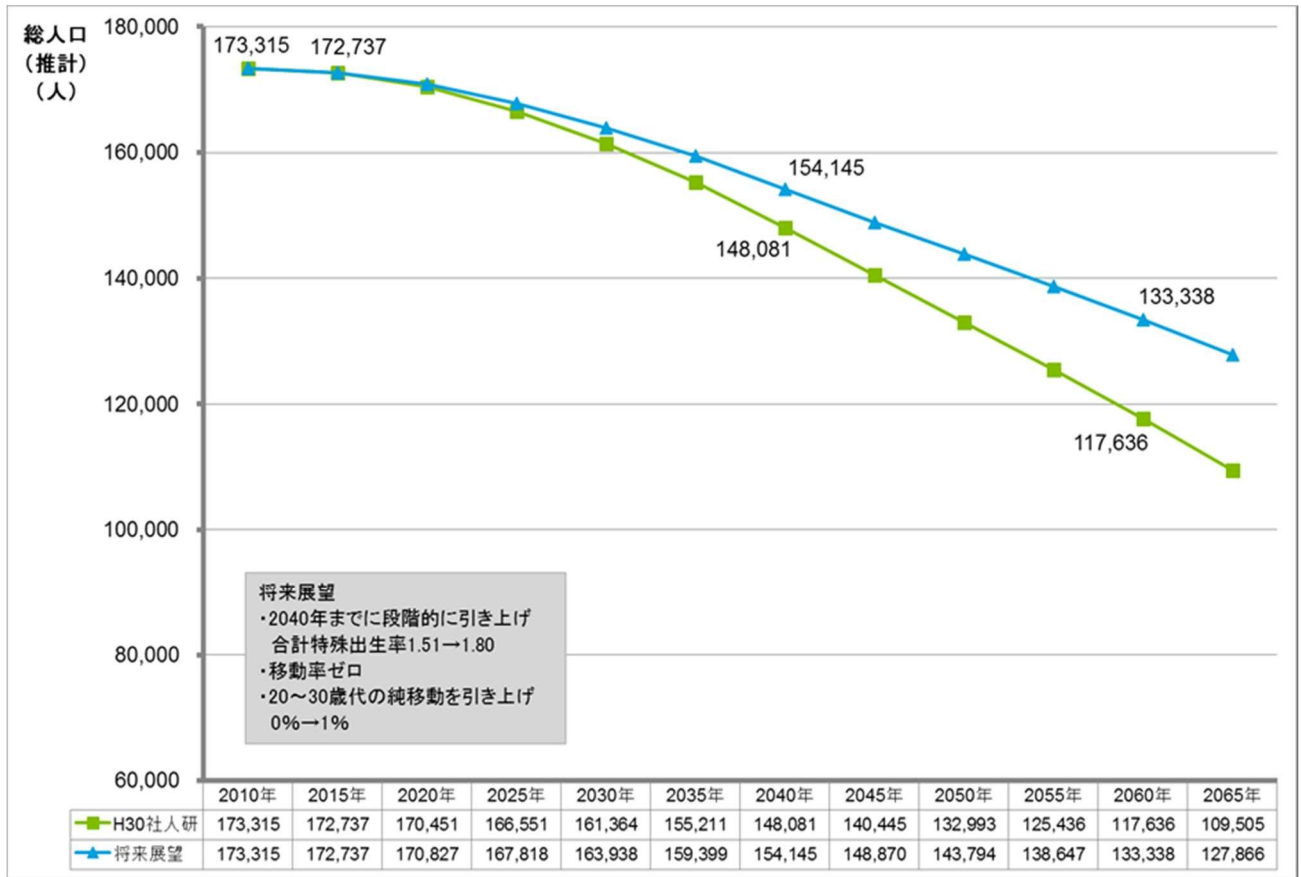
◇上記のシミュレーションをもとに、人口の将来展望を以下のとおり設定。

- ・令和 22 年（2040 年）⇒約 15 万人を維持
- ・令和 42 年（2060 年）⇒約 13 万人を維持

◇これをもとに、第 6 次基本計画は、目標時期である令和 4 年（2022 年）の人口を約 17 万人と想定して策定している。

【第2期苫小牧市人口ビジョンにおける将来展望】

◇若年層の転出を抑制するとともに、合計特殊出生率（1.51）を段階的に引き上げたと仮定（1.80）してシミュレーションしている。



◇上記のシミュレーションによれば、それぞれ推計値は若干減少しているものの、人口の将来展望を以下のとおり設定。

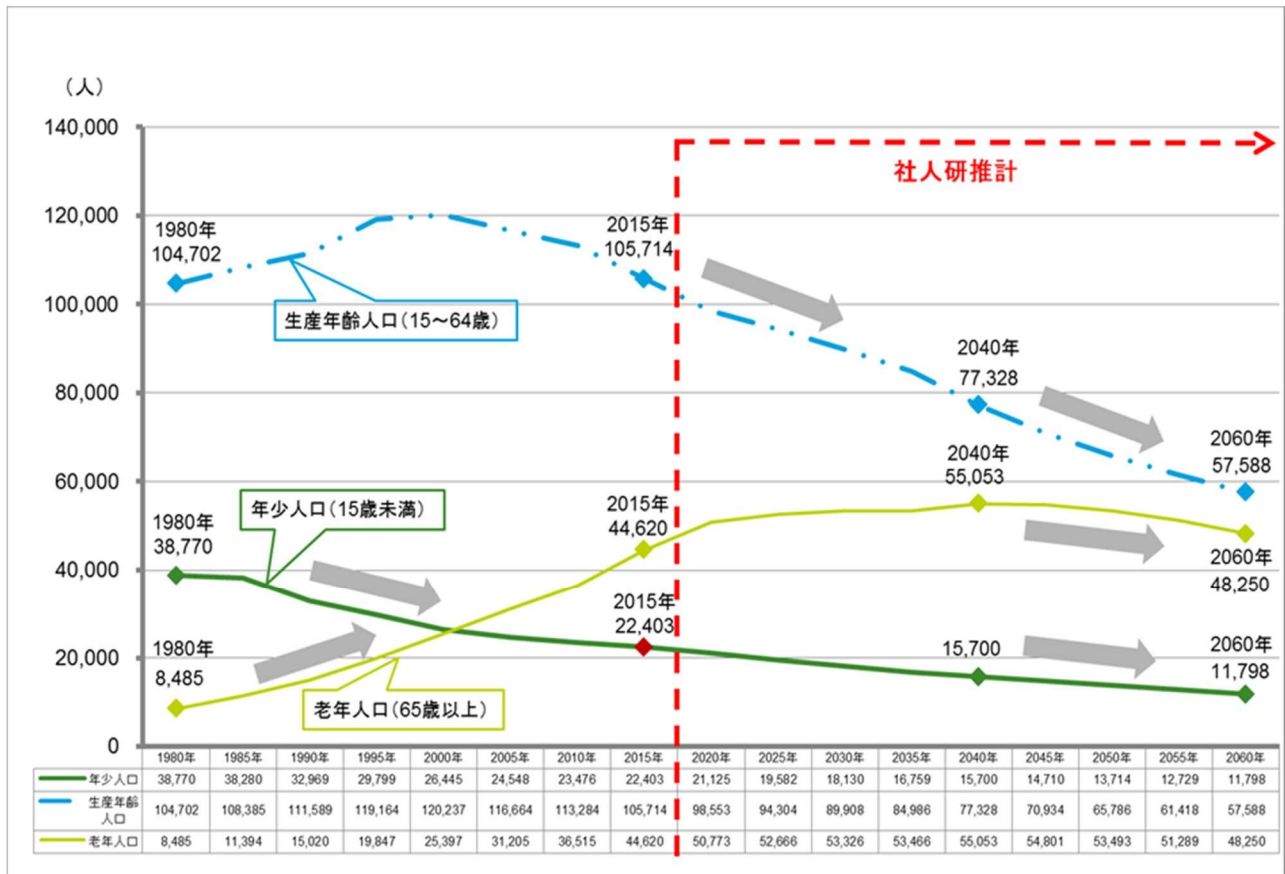
- ・令和22年（2040年）⇒約15万人を維持
- ・令和42年（2060年）⇒約13万人を維持

◇これをもとに、第7次基本計画は、目標時期である令和9年（2027年）の人口を約16万人台後半として策定する。

【年齢別人口推計について】

◇社人研の推計によると、生産年齢人口（15歳～64歳）と年少人口（15歳未満）は減少し、老年人口（65歳以上）は増加する推計となっている。

◇老年人口は令和22年（2040年）をピークに減少に転ずると推計されており、令和22年（2040年）の老年人口は55,053人、生産年齢人口は77,328人、年少人口は15,700人と推計されている。



※第2期人口ビジョン【図2 年齢区分別人口の推移、推計】